

## 貝類漁業対策

## 1. アサリ冬季減耗対策等

## (1) 目的

三番瀬におけるアサリの冬季減耗対策として、被覆網によるアサリの保護管理技術を 22～24 年度に開発したことから、当技術を漁業者へ普及する。

また、24 年度に網袋でアサリを保護育成し、11～3 月の残留率は 90%以上と良好であったことから、アサリ生産の維持・増大の手法として、網袋による漁業生産の可能性を評価する。



写真1 網袋

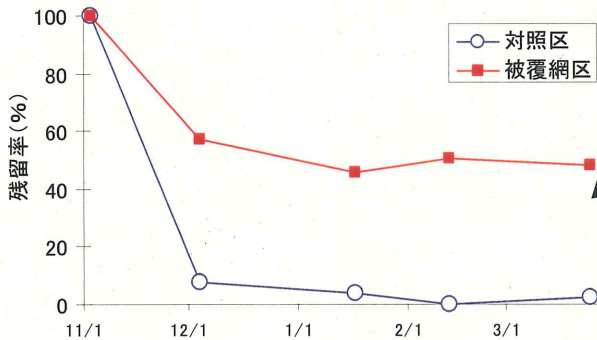


図1 被覆網によるアサリの残留率  
(平成24年11月～平成25年3月)

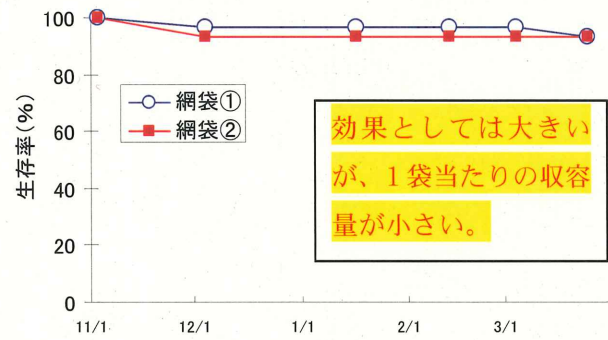


図2 網袋によるアサリの残留率  
(平成24年11月～平成25年8月)

効果としては大きい  
が、1袋当たりの収容  
量が小さい。

効果としては大きい  
が、労力がかかることが欠点

## (2) 今後の方針 (～28年度)

冬季減耗対策である被覆網によるアサリの保護管理技術の開発は、一定の成果が得られたことから、資源状況に応じ、現場への普及を図っていく。

また、網袋については網袋の最適な利用方法を検証しながら、冬季減耗対策を含む保護育成効果を明らかにすることで、漁業生産への利用の可能性を評価していく。